

With You

～子どもたちの未来のために～

くらしのねがいを届きたい

●安心子育ての松江へ

学びの保障、「密」さける少人数学級を。
こども通院医療費中学卒業まで無料に。
給食費など保護者負担の軽減を。

●豊かで住み続けられるふるさとに

気候危機で増える災害への対策を。
島根原発の再稼働やめて自然エネルギーへの転換を。
泳げる中海、豊かな中海を次世代に。

●こどもからお年寄りまで大切に

バス路線など交通手段の確保。
国保料引下げ、介護サービスの拡充を。
皆さんの要望を市政に届けます。

子育て、年金、介護など、暮らしの困りごとお寄せください。

コロナ対策など申し入れ



コロナ対策や予算要望を、3人の市議団と一緒に、市役所を訪れ申し入れしました。中学卒業までの外来医療費無償化や、給食費負担軽減も要望に入れています。実現に全力をあげます。

あなたの声が市政を動かした!

- 小中学校の普通教室にエアコン設置
- 子どもの入院医療費中学卒業まで無料に
- 少人数学級の国への意見書採択

3人の市議団で他会派にもよびかけて実現

たちばなふみ

tachibanafumi924@gmail.com

URL <https://www.tachibana-fumi.com/>



たちばな ふみ ヒストリー



下関で生まれ、4歳から八束町・大根島で育ちました。干拓中止で中海の自然が残せたこと、本當にうれしいです。

大学では政治学・地域政策ゼミで、まちづくり研究にとりくみ、フィールドワークを基に斐伊川流域圏の地域活性化策を提言しました。
医療生協を経て、法律事務所です15年勤めました。

幼少期、原爆絵本「ひろしまのピカ」を読んで以来、原爆や平和問題に興味のある子どもでした。戦争の反省から戦争放棄の憲法ができたこと学び、憲法をまもる活動や、戦争を知らない世代が戦争体験を語り継ぐ朗読劇に20代から参加してきました。



朗読劇「この子たちの夏 1945-ヒロシマナガサキ」



子どもが小学校に入学し、地域の子ども会活動では通学路の安全のために、県や市の担当者や危険箇所をウォッチングしました。車道しかなかった通学路に歩道が整備され、生活の声を届けるって大事だと実感しました。



コロナ禍の一斉休校で・・・

発表があった当時、明日休校になったら仕事はどうしよう？お昼ご飯は？留守番は？と大慌てでした。島根は、働くお母さんの割合が日本一多いのです。休業給付などの制度が声をあげてはじめて、後付でできていきました。当事者や女性、そして声のあげられない子どもたちの代弁者になる人が、政治の世界にいないならならぬ、そう思いました。

プロフィール

本名：足立ふみ（橋は通称使用）
■1976年生まれ ■八束小・中、松江東高、島根大学法文学部法学科卒 ■1999～2006年ひかわ医療生協 ■2006～2020年法律事務所勤務 ■安保護連法に反対するママの会@しまね等で活動 ■新日本婦人の会県本部・松江支部委員 ■党松江市委員会ジェンダー平等委員長 ■家族は両親と祖母・夫・2人の子ども ■趣味はうたごえとミシンで小物づくり

日本共産党